

平成28年度京都府一般会計・特別会計決算について

1 平成28年度一般会計決算額

～一般会計決算の状況～

(単位:百万円・%)

	平成28年度	平成27年度	増減額	対前年度比
歳入総額 A	942,845	989,215	△ 46,370	95.3
歳出総額 B	938,245	984,698	△ 46,453	95.3
形式収支 C=A-B	4,600	4,517	83	101.8
翌年度へ繰り越すべき財源 D	3,910	3,834	76	102.0
実質収支 E=C-D	690	683	7	101.0
前年度実質収支 F	683	675	8	101.2
単年度収支 E-F	7	8	△ 1	87.5

～決算収支の特徴～

- ◆ 平成25年度から3年連続で増収であった府税収入の減収をはじめ、一般財源収入が大幅に減少となる一方、社会保障関係の義務経費は増加したため、非常に厳しい財政運営が続く
- ◆ 過去最大規模の決算額であった昨年度と比較すると、歳入・歳出とも規模は縮小

<歳入> 9,428億円 (対前年度比 464億円減)

- 府税、地方消費税清算金収入の減 ▲約171億円
- 地方法人特別譲与税の制度改正に伴う地方譲与税の減 ▲約68億円
- 地方交付税の増、臨時財政対策債の減 ▲約78億円

<歳出> 9,382億円 (対前年度比 465億円減)

- 社会保障関係経費の増 約61億円
- 府税の減収に伴う地方消費税清算金、市町村交付金等の減 ▲約150億円
- 府債管理基金積立金の抑制に伴う公債費特別会計繰出金の減 ▲約210億円